

GX8 と FX シリーズを RS-422 シリアルで接続する方法

設定の流れ:

1. GX8 Design Studio で GX8 側の設定を行う



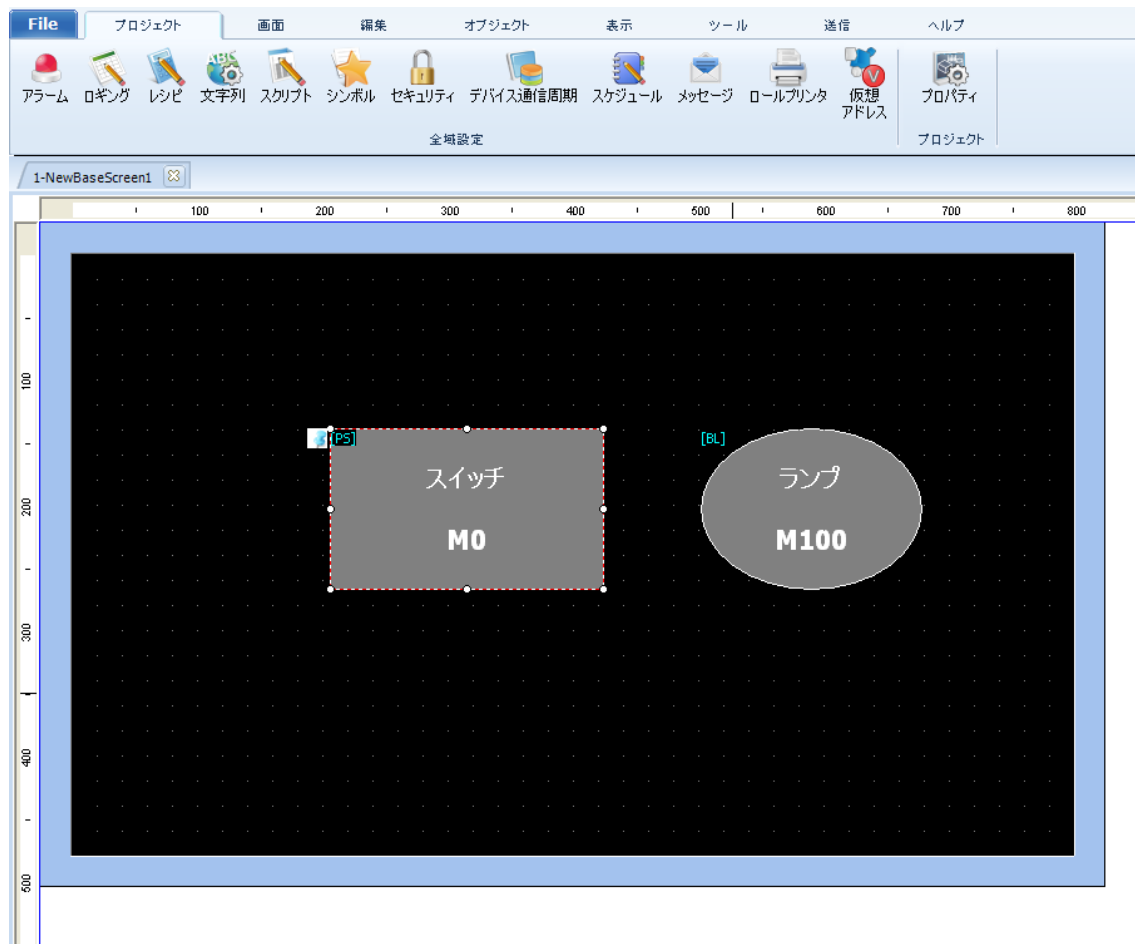
2. GX8 へプロジェクトを書き込む



3. GX8 で通信テストを行う

1. GX8 の COM ポートの設定

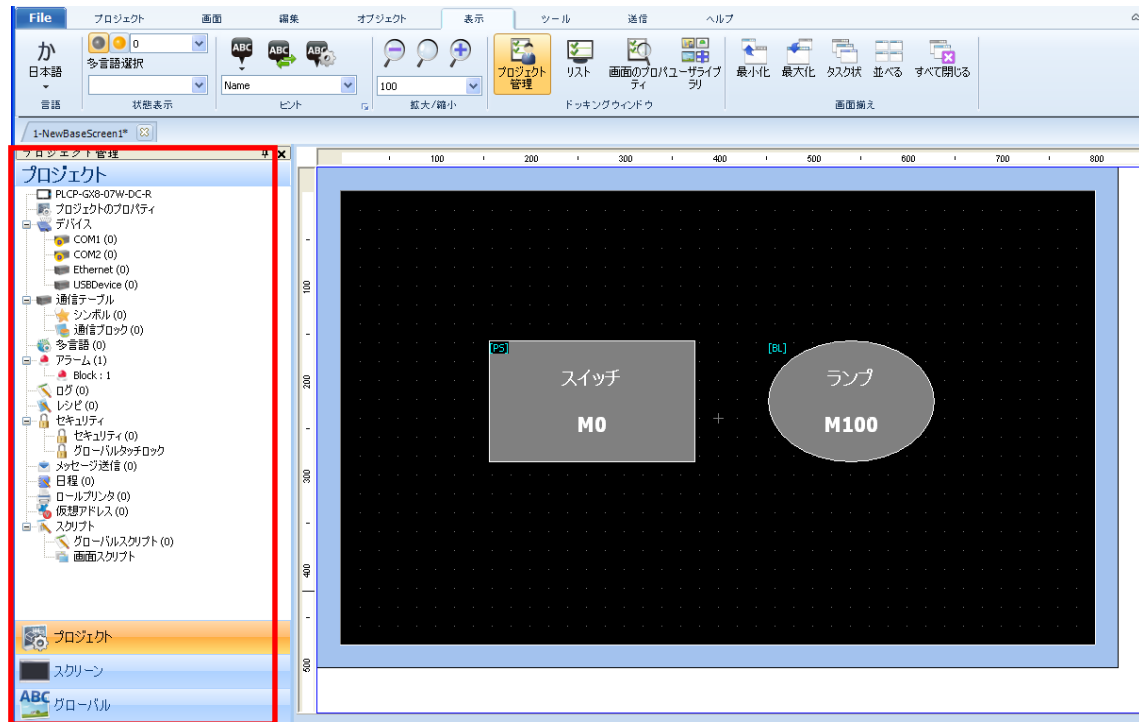
1-1. GX8 Desing Studio を起動する



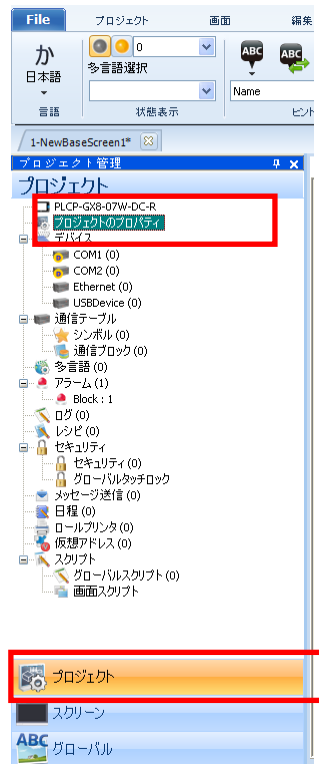
[表示]タブに表示を切り替え、[プロジェクト管理]をクリックする



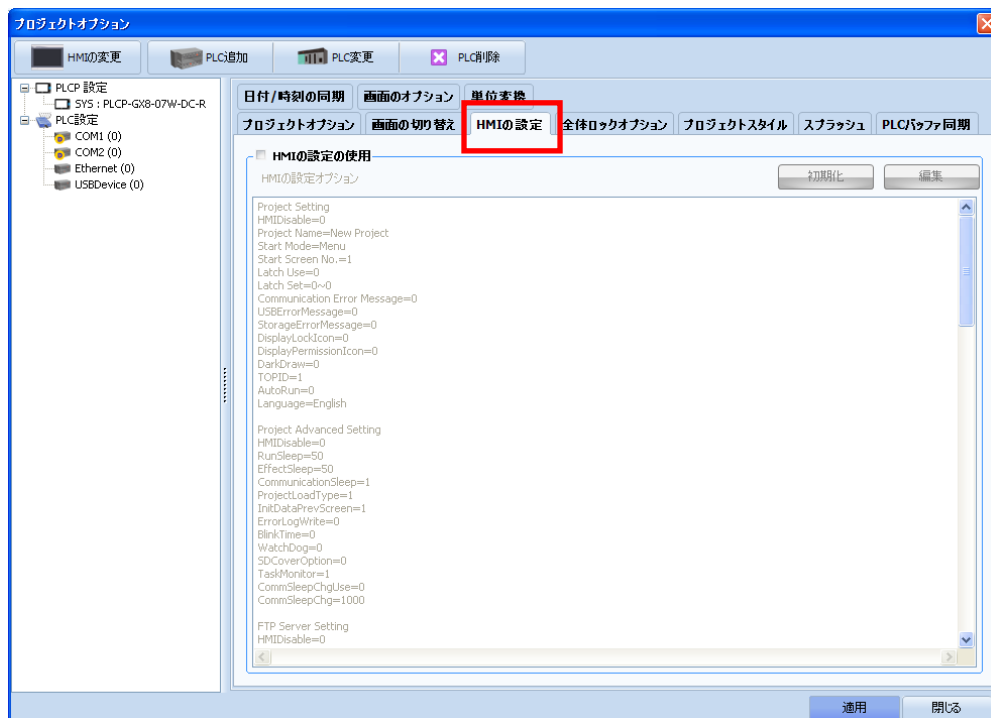
[プロジェクト管理]画面が表示される



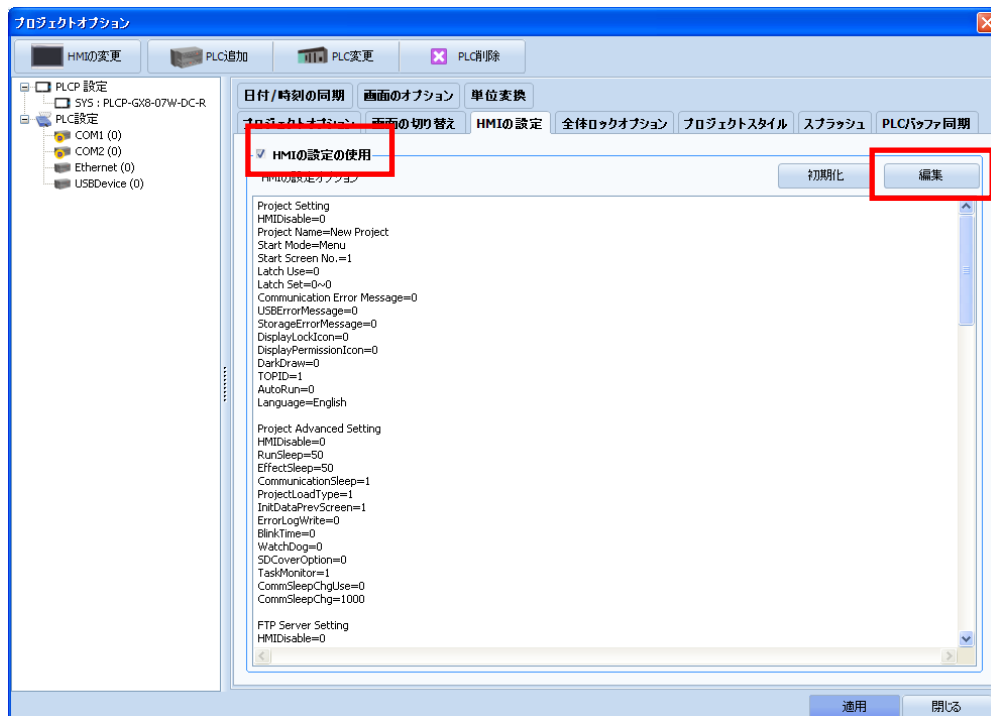
[プロジェクト管理]画面の[プロジェクト]を開き、「プロジェクトのプロパティ」をダブルクリックする



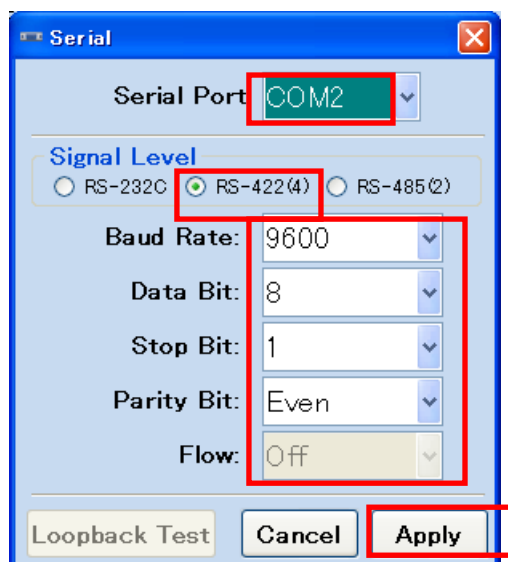
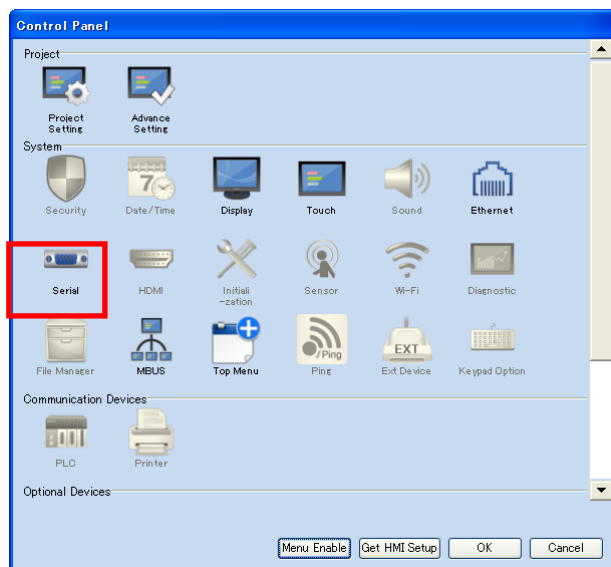
[プロジェクトオプション]画面の[HMI の設定]タブを開く



[HMI の設定の使用]にチェックを入れ、「編集」ボタンをクリックする



[Control Panel]画面が開くので、「Serial」アイコンをクリックする

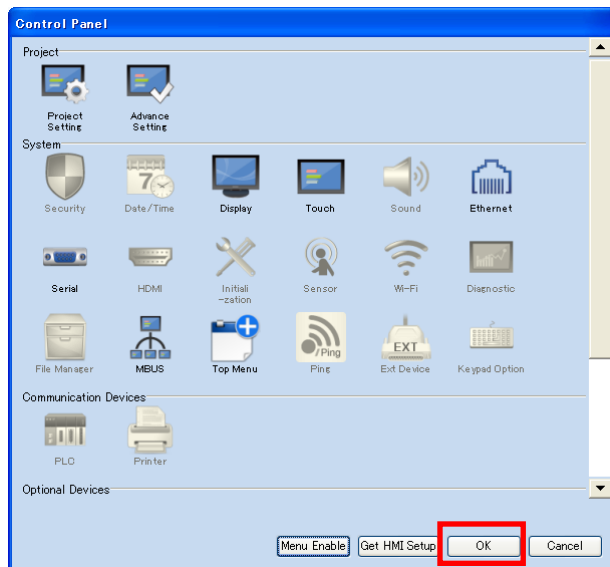


[Serial]画面が開くので、GX8 のシリアル設定を行う

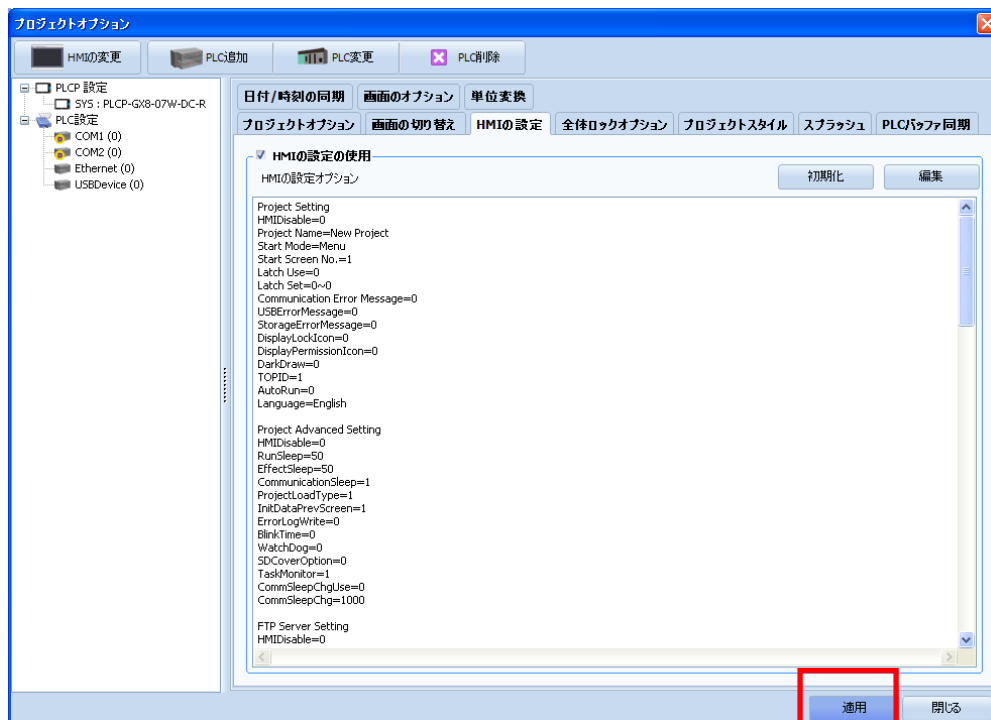
Serial Port	COM2
Signal Level	RS-422
Baud Rate	9600
Data Bit	8
Stop Bit	1
Parity Bit	Even

「Apply」ボタンを押す （※注意:まだ設定が有効になっていない）

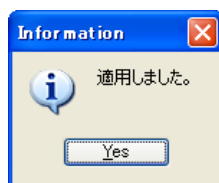
[Control Panel]画面に戻るので「OK」ボタンをクリックする



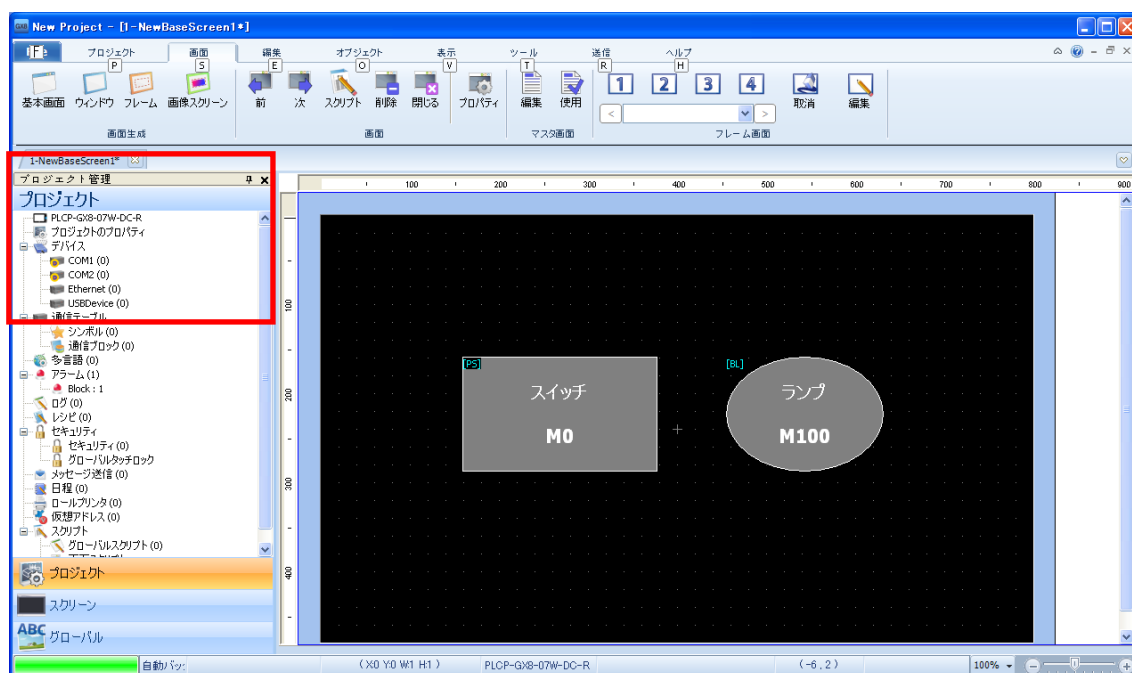
プロジェクトオプション画面に戻るので「適用」ボタンをクリックする



「Yes」をクリックし、プロジェクトオプション画面を「閉じる」ボタンで閉じる



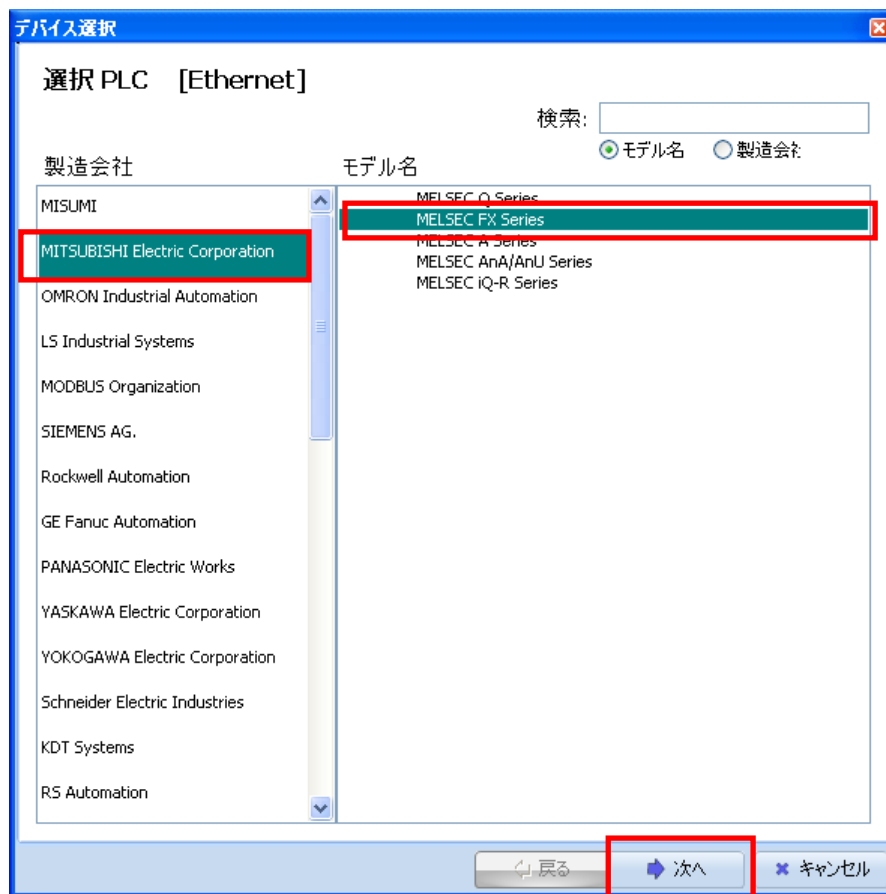
1-2. GX8 に PLC の通信設定を登録する



プロジェクト管理画面の[デバイス]-[COM2]をダブルクリックする



デバイス選択画面で[MELSEC FX Series]を選択し「次へ」をクリックする



[通信オプションの設定]画面でPLC設定を行い「確認」をクリックする

通信オプションの設定

PLCの設定

別名: PLC1

インターフェース: CPU Direct

プロトコル: Fx CPU

文字列の保存モード: First LH HL 変更

通信マニュアル

☒ **冗長使用**

演算条件: AND

変更条件: ☐ タイムアウト 5 (秒) 編集

☐ 条件

Primary Option

TimeOut (ms): 300

SendWait (ms): 0

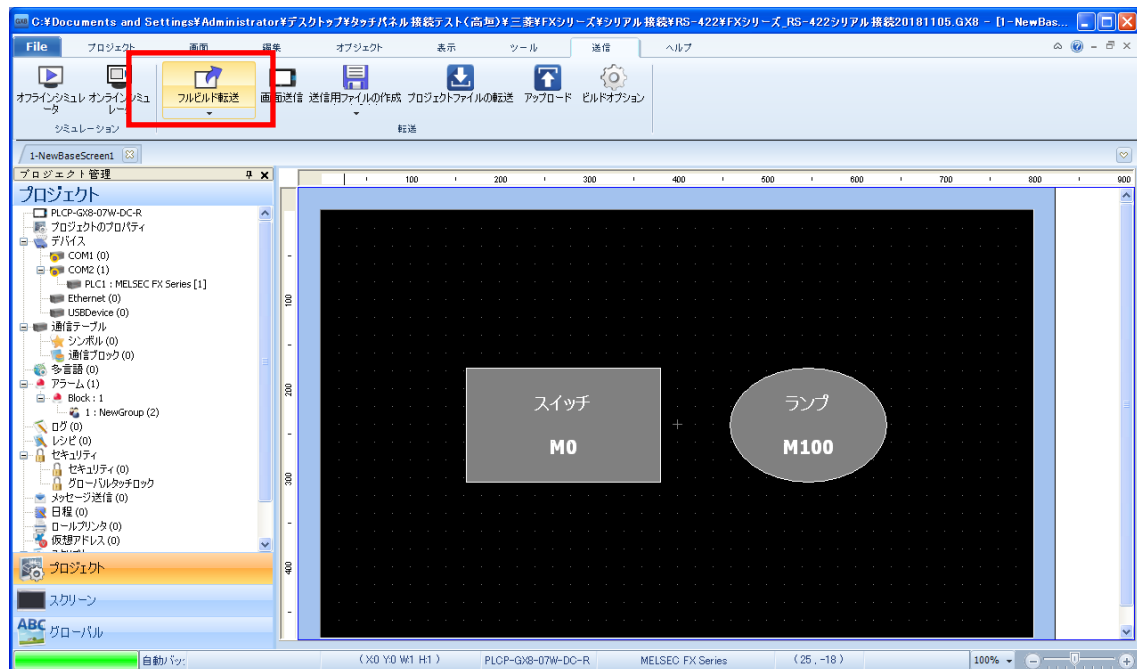
Retry: 5

確認 キャンセル

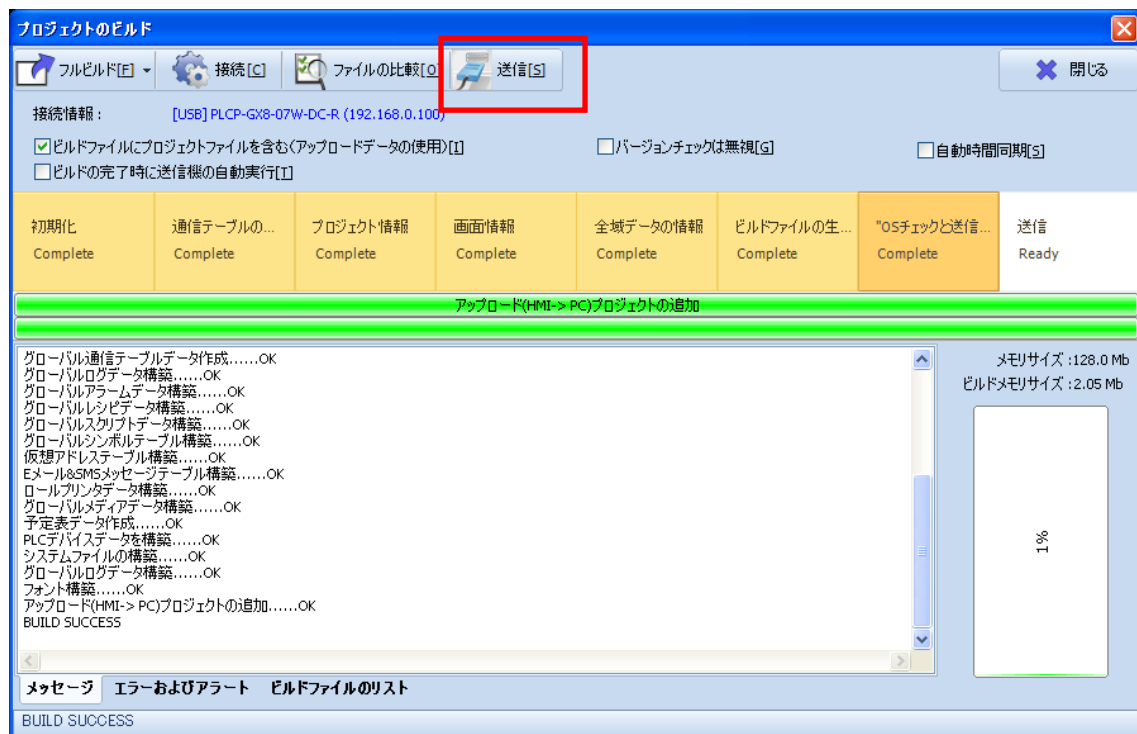
PLC の設定	
別名	PLC1
インターフェース	CPU Direct
プロトコル	Fx CPU
文字列の保存モード	First LH HL
Primary Option	
TimeOut	300
SendWait	0
Retry	5

2. GX8 にプロジェクトを書き込む

GX8 にプロジェクトを[フルビルド転送]する



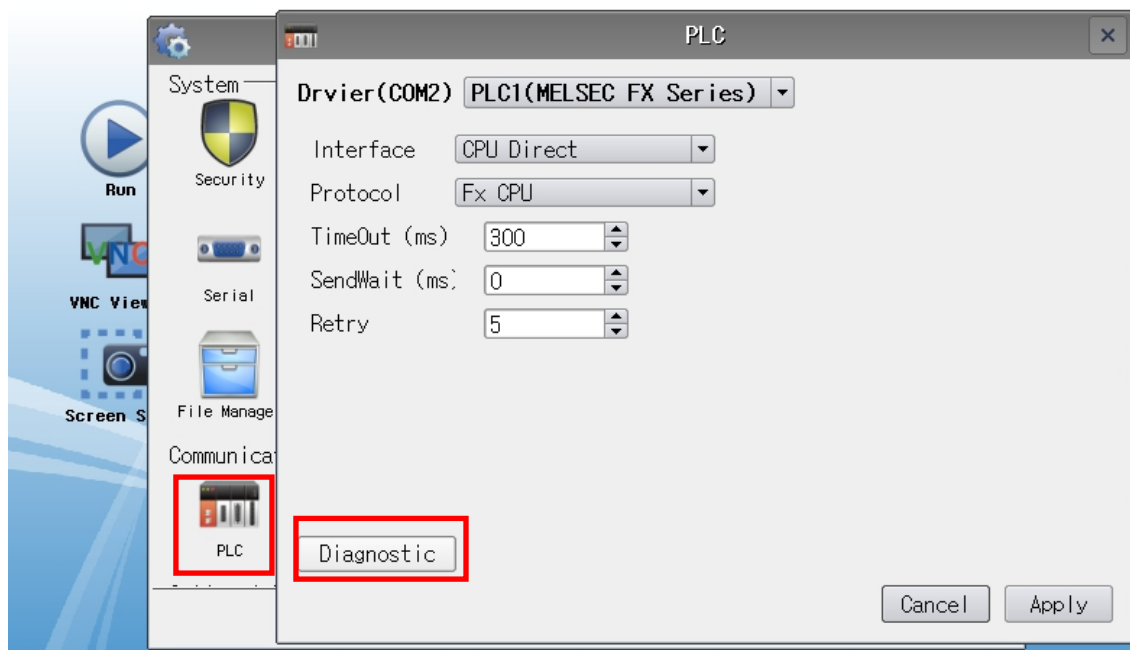
[OS チェックと送信 Complete]が黄色くなった後「送信」ボタンをクリックする



3. GX8 で通信テストを行う

5-1. GX8 と PLC を RS-422 ケーブルで接続する

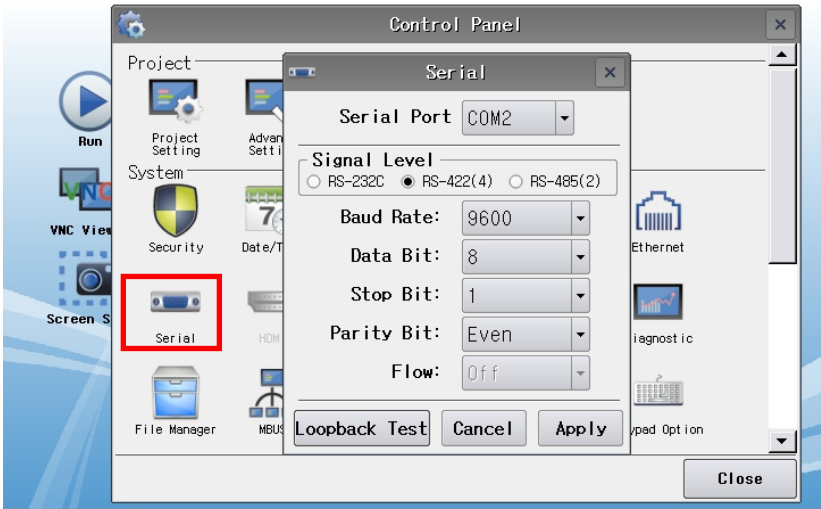
5-2. GX8 のメイン画面を開き(画面上部をタッチしたまま下にドラッグ)、[Control Panel]ー[PLC]で[PLC]画面を開き、「Daiagnostic」ボタンを押す



メッセージ:

通信 OK の場合	
通信 NG の場合	

5-3. 通信 NG の場合、GX8 メイン画面のコントロールパネルを開き、GX8 の設定と PLC の設定を再度確認する

	<p style="text-align: center;">GX8 のコントロールパネル</p> 
<p>PLC のネットワーク情報</p>	